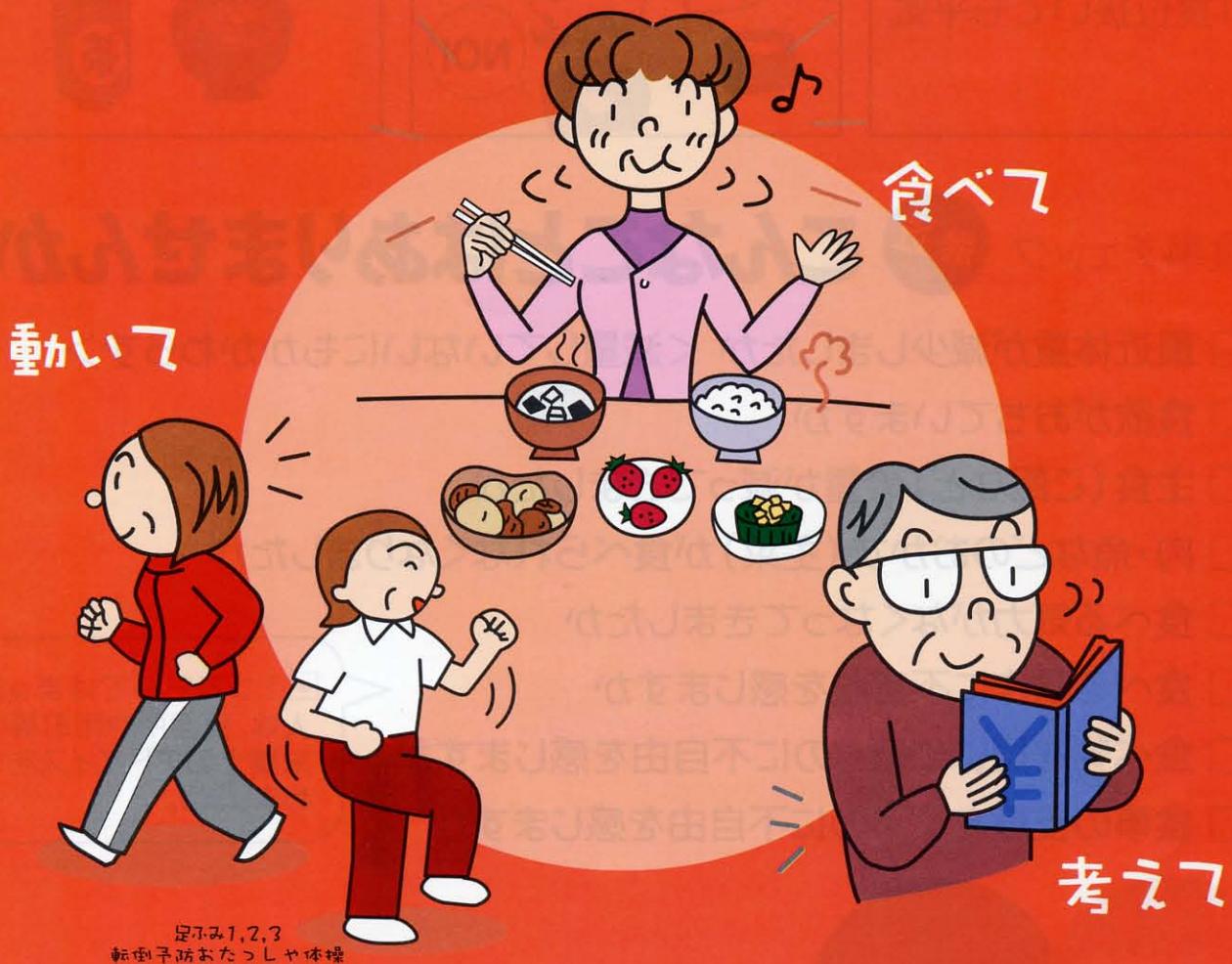


老化を
遅らせる!

ええかー

(栄養)

70歳からの元気生活



足歩み1,2,3
転倒予防おたっしゃ体操

高齢期を生き生きと元気に送るには食事・運動・生活の3つの習慣の見直しがポイントです。丹後保健所で行った調査では、骨密度が高いグループは虚弱、転倒、失禁、低栄養など介護が必要になる危険項目が低いことがわかりました。つまり、バランスの良い食生活と、転倒・骨折予防や元気な体づくりは車の両輪なのです。

「健康寿命日本一」をめざし今日からできる元気食生活を始めましょう。

こんな生活していませんか？

ご飯と簡単なものばかり

- 料理はめんどうあるものですませる
- 食事は簡単におやつはたっぷり！
- 1食位抜いても平気

素食が長生きの元野菜だけで十分

- 肉は食べない
- 健康のために肉や魚より野菜



トイレが近いので水分制限

- 出かける前や寝る前には水分制限
- 動いても余り水気を飲まない



✓食事チェック

最近

こんなことはありませんか？

- 最近体重が減少しましたか <減量していないにもかかわらず>
- 食欲がおちていますか
- 主食(ご飯など)の量が減ってきましたか
- 肉・魚などのおかず(主菜)が食べられなくなりましたか
- 食べる気力がなくなってきたのか
- 食べる動作に不自由を感じますか
- 食べ物を買いに行くのに不自由を感じますか
- 食事の支度をするのに不自由を感じますか

✓ 1つでもあてはまった人は、保健所や市町等の栄養士のアドバイスを求めましょう。

おかずを
食べず

動かず

でどうなるの？

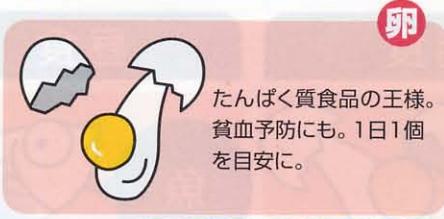
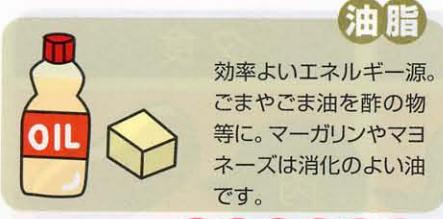
まず、体重が減り体を支えパワーをつける筋肉も減り体力が落ちます。次に、大切な脳細胞や内臓・骨格などの重量も減り、生活力や抵抗力が落ち老化が加速します。

食事のポイント

「たくさん」より「まんべんなく」

70歳を越えたら、体力を維持し老化を遅らせる食生活を 心がけましょう。コレステロールやエネルギーを気にするあまり偏った食事を続けるのは逆効果。さまざまな食品群をとり入れることが、寝たきり予防につながることがわかっています。

下の10食品群をまんべんなく食べて、バランスの良い食生活を送りましょう。



低栄養になり、老化がすすむと…

抵抗力が低下して
病気になりやすくなる

筋力が弱まって転倒し、
骨折しやすくなる

寝たきりや閉じこもりの原因に

うつわ 3つの器をそろえて

3つの器

毎食そろえる習慣を！

主菜なしは低栄養の危険が増え、

副菜なしは野菜不足に。

主食=ご飯・パン・めん類など

主菜=たんぱく質や脂肪が多い料理

肉・魚・卵・大豆製品の料理

副菜=野菜・海草・キノコ料理など



5つの器

3つの器にあと1つの

副菜と具だくさんの汁物で
栄養バランスがよくなります。

主菜例 1日目



主菜例 2日目



簡単・上手に食べるワザ

朝昼夕の主菜を先に決めてから献立を考えるのもバランスが取りやすくなります。

◇たくさん作って冷凍保存

きんぴら、切り干し大根煮
筑前煮、ひじき煮など

→容器に入れ冷凍
電子レンジで温めて

◇電子レンジを活用

青菜、オクラ、ナス

→洗ってラップに包んでチン！

かぼちゃ、人参、芋

→切ってラップをかけてチン！

鍋で煮込めば簡単煮物

◇大根おろしを利用して

○ゆでた肉、焼き魚、
竹輪やはんぺん、胡瓜
ゆでた茸など色々和えて

○しょうゆ味、酢の物で